



平成 22 年 6 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 トライアイズ
代 表 者 代表取締役社長 池田 均
(コード 4840 大証ヘラクレス市場 G)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 赤根 克洋
電 話 0 3 (3 2 2 1) 0 2 1 1

当社連結子会社の民事再生手続開始決定 および業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である東京ブラウス株式会社の民事再生手続開始申立てについて平成 22 年 6 月 3 日に東京地方裁判所から民事再生手続開始決定を受けましたので、下記の通りお知らせ致します。

また、連結子会社である株式会社松崎の破産手続開始決定（平成 22 年 5 月 17 日付公表）および東京ブラウス株式会社の民事再生手続開始決定並びに最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 4 月 30 日付にて発表いたしました平成 22 年 12 月期の業績予想を下記の通り、修正いたします。

記

1. 民事再生手続開始決定について

(1) 当該民事再生手続開始の申立て等の内容

- ①管轄裁判所 東京地方裁判所
- ②事件名 平成 22 年（再）第 70 号
- ③申立代理人 東京都千代田区有楽町一丁目 5 番 1 号 日比谷マリビル 8 階
須藤・高井法律事務所
弁護士 高井 章光
弁護士 佐賀 寛厚
弁護士 中溝 太
- ④負債総額 1,185 百万円（平成 22 年 5 月 31 日 申立日現在における負債見込み額）

(2) 民事再生法による今後の予定

- ①再生債権の届出期間 平成 22 年 7 月 5 日
- ②報告書等（民事再生法 124 条、125 条）の提出期限 平成 22 年 7 月 30 日
- ③認否書の提出期限 平成 22 年 8 月 2 日
- ④再生債権の一般調査期間 平成 22 年 8 月 9 日から
平成 22 年 8 月 16 日まで
- ⑤再生計画案の提出期限 平成 22 年 8 月 30 日

上記日程につきましては、今後の手続きの進行によっては変更となる場合があります。

2. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,041	△152	△110	△332	△248 円 82 銭
今回修正予想(B)	9,144	△330	△273	△509	△382 円 08 銭
増減額(B-A)	△1,897	△178	△163	△177	—
増減率(%)	△17.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期)	12,965	△387	△321	△423	△314 円 92 銭

3. 平成 22 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	519	90	169	△801	△600 円 31 銭
今回修正予想(B)	386	△44	11	△1,577	△1,181 円 88 銭
増減額(B-A)	△133	△134	△158	△776	—
増減率(%)	△25.6	—	△93.5	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期)	421	△48	8	28	21 円 43 銭

4. 修正の理由

(1) 株式会社松崎および東京ブラウス株式会社の連結決算への取り込みについて

株式会社松崎につきましては、破産手続開始決定(平成 22 年 5 月 17 日付)により、平成 22 年 4 月 30 日を連結除外基準日とみなし、連結除外となります。

東京ブラウス株式会社につきましては、民事再生手続開始決定(平成 22 年 6 月 3 日 13 時)を受けましたが、人的支援の現況から連結決算においては支配力基準にて判断し、連結子会社としております。本業績予想に取り込んでいる同社の数値につきましては、現時点での入手可能な情報に基づき、再建への基本的方向性を考慮し作成しておりますが、民事再生手続下において裁判所が認可する再生計画とは異なる場合があります。

今後の決定事項等につきましては確定次第随時、関係諸法令・規則に則りお知らせ致します。

(2) 連結業績予想

売上高および営業利益、経常利益の主な減少要因は、株式会社松崎につきましては、破産申立て以降の業績が見込めなくなったこと、また、東京ブラウス株式会社につきましては、不採算取引となっている販路からの撤退を段階的に計画しておりましたが、民事再生手続開始申立てにより前倒しして直ちに停止することによるものです。

当期純利益につきましては前述の減少要因と、東京ブラウス株式会社における建物等の有形固定資産およびソフトウェア等の無形固定資産に対する減損処理等による特別損失 166 百万円が見込まれるため、連結業績予想を修正するものです。

(3) 個別業績予想

売上高および各利益段階の主な減少要因は、株式会社松崎および東京ブラウス株式会社からの経営指導料収入が見込めなくなったことによるものです。また、当社の東京ブラウス株式会社への貸付金に対して貸倒引当金 566 百万円の特別損失の計上が見込まれることから、個別業績予想を修正するものです。

なお、個別決算において計上いたします特別損失は、連結決算においては相殺消去されます。

(注) 上記業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上